

人権協シンボルマーク



いろんな人と人とのつながり、
ふれあいを美浜のMと波で
イメージしました。

ふれあい

美浜町人権尊重啓発協議会会報

第74号

発行：令和3年7月23日
(年3回発行)

編集：人権協広報部会

連絡先：美浜町教育委員会事務局

TEL 32-1212

FAX 32-1222

E-mail: jinkenkyo@town.fukui-mihama.lg.jp



↑アドレスの入力を
省略できます



皆様のご理解とご協力のおかげで、美浜町人権尊重啓発協議会は25周年を迎えました。今回は平成19年度から平成21年度まで会長を務められた国立さんに人権協の歩みを振り返っていただきました。

「美浜町人権尊重啓発協議会25年を振り返って」

国立 政宣さん

平成8年に人権尊重啓発協議会が発足して、25年が経過しました。それ以前は、同和教育推進協議会として、集落研修会などを組織が主導する形で実施していました。人権協は、町民の方に自主的に参加してもらえるような組織にしようとして立ち上げました。運営スタッフも、募集をして参加していただきました。

2年目から、ほぼ今と同じような組織になりましたが、町民人権講座は、最初30~40人ほどの受講しかなく、100人を目標に受講者増に苦心しました。年6回の講座は、中央公民館を中心に、東小、南小(現西小)等を会場にしながら実施し、現在はなびあすを会場に行われています。最近の人権のつどい(12月開催)では、整理券を発行するまでの盛況となりました。集落研修会も、毎年多くの集落で開催されるようになってまいりました。推進委員の努力と多くの方のご協力によってここまで来られたのだと思います。

人権意識の高い方はいろいろな方法で学習しておられると思いますが、中には関心のない方もおられます。近年、国際化、多様化が進み、今まで差別や人権侵害だと思わなかったことが差別と認定されるようになってきました。また、インターネットの発達により、ネット上での差別や誹謗中傷が相次いで大きな社会問題となっています。政治家や著名人の発言が差別だとして、辞任や謝罪が相次いでいます。

差別や誹謗中傷は、人の心を傷つけ、時には死に追いやってしまうこともあります。知らなかったでは済みません。法に違反すれば、知っていても知らなくても罰せられます。差別を受けた人が傷ついたりしますが、人の心を傷つけると、傷つけた人も不幸になることがあります。

聞いた話の中に、「よいことをしても幸せにはなれません。よい心でよいことをすれば幸せになれます。」というものがありました。福井新聞の一面に、『慈しみの心』という欄があります。ある日、「殺すものは殺され、恨むものは恨みをかう、また、罵りわめくものは他人から罵られ、怒りたける者は怒りを受ける。業(輪)の回転によって掠め取られた者が掠め取る。【釈迦】とありました。その解説には、「一前略一 人も動植物もみなかかわって生きているので、殺せば殺され、恨めば恨まれる。奪うと奪い返される。悪行は報復されるが、善行は感謝される。」とありました。

たくさんの人と出会い、多くのことを学ばせていただきました。知識があれば心豊かな人生を送ることができると思います。まだまだ知らないことがたくさんありますが、生涯、学習です。学び続けたいと思います。



2008年の人権のつどいでの写真です。中央が国立元会長。河合現会長と竹本現副会長とともに。

法務省・全国人権擁護委員連合会の啓発冊子より

コロナをおそれて、 過剰な反応になっていませんか？

○あなたの言葉や行動が人を傷つけてしまうことがあります。
「自分のこと」として考えてみましょう。

○不安を差別につなげてはいけません。正しい知識・情報に基づいて行動しましょう。

CASE 1

あなたの奥さん、
病院で働いてるんだよね。
悪いけどしばらく出社は
控えてほしい。

配送業者の子どもは
学校に来ないで。



Point

医療従事者やエッセンシャルワーカー
(日常生活に欠かせない仕事に就いてい
る人) に感謝の気持ちを持って接し、
むしろエールを送りましょう。

CASE 2

〇〇さん職場復帰したけど
後遺症あるみたい。
まだうつるかも。
近寄らないようにしよう。

〇〇さん
感染したんだって。
どうせ夜遊びしてて
感染したんじゃ
ないかな？



Point

ウイルスには気をつけても誰でも感
染する可能性があります。相手の立
場に立って、正しい知識をもとに、
感染者とその家族に思いやりを持っ
て接しましょう。

CASE 3

咳はぜんそくのせい
だって言うけど、
絶対コロナに
決まっている。
休めばいいのに。

県外ナンバーの方は、
一切、この施設の
ご利用をお控え
ください。



Point

思い込みを避けて正しい情報を確認
し、科学的根拠の乏しい過剰な反応
は控え、冷静に行動するようにしま
しょう。

コロナ差別をしないことはコロナ対策のひとつです。

「人権のまち・美浜をめざして」

人権協・部会紹介 (全7部会)

会長 河合 政志

副会長 高橋 修・高橋 一男・竹本 三代一

人権擁護・啓発部会

部会長 中川 健男

瀬戸 弘勇	吉本 典子	加茂 ひろ子
武長 詩子	石嶋 幸枝	木野 隆
知場 富雄	三宅 育代	高橋 修
武田 晋	馬野 さおり	藤村 晋也

人権週間中に啓発活動を行います。推進委員相互の交流や研修を行います。

広報部会

部会長 西野 泰弘

宇都宮 貴	山野 泰孝	川畑 成央
中川 貴寛	芝井 太志	南 宥希
武田 奈々	港 真里奈	

年3回広報「ふれあい」を発行し、人権に関する情報や人権協などの活動に関する情報を提供します。

啓発資料・人権協コーナー部会

部会長 三好 万里子

森井 みどり	福鳶 智恵美	池田 直美
加藤 睦教	山口 有一	塩濱 功平
山東 佑里子	大同 浩子	田中 優太郎

身近に人権について考えていただけるような啓発資料「ふれあい」を発行します。人権週間中に、人権協コーナーを開設します。

作品公募・意識調査部会

部会長 森本 哲

宇都宮 亮	渡辺 直史	河本 猛
木谷 浩章	高木 隼	宮下 海誓
萩原 敦子	伊藤 弘昭	

人権作品(短い手紙・絵・ポスター)の公募を行い、入賞作品は人権作品集「ふれあい」として発行します。意識調査を実施していきます。

町民人権講座部会

部会長 高木 賢治

今井 健二	四ッ橋 政和	脇田 幸子
浜野 裕介	川尻 宏和	武田 定幸
武長 一紀	竹内 洋子	

年間6回の講座を開設し、広く町民に人権に関わる学習機会を提供します。

推進団体学習部会

部会長 大塩 友之

寺田 真一	山口 拓夫	兵庫 賢一
松田 うめ子	田邊 拓登	塚原 仁朗
田辺 有羽	武田 達也	荒木 祐作

集落・企業・団体等の自主的な学習機会の開催を支援します。

人権のつどい部会

部会長 木子 雅之

加藤 美千代	本間 博美	伊藤 善幸
中嶋 さき子	河合 美恵子	玉井 なおみ
大野 準平	西野 文隆	西村 康政
野原 佐智夫		

人権週間の意義を踏まえ、12/4(土)に「人権のつどい2021」を開催します。

人権コラム

最適解

「執筆」南 宥希



最適解という言葉をご存じですか。世の中には、正解と不正解、それから最適解というものも存在しています。最適解とは、状況を分析し、その状況に対して最適と考えられる解答のことです。最適解は1つではないので、状況が変われば最適解も変化します。世の中には、数学のように答えが1つのものもありますが、答えがないものもたくさん存在しています。そのような状況下で、この最適解は必要となります。

世界で猛威をふるう新型コロナウイルス感染症。世界で初めて感染者が確認されてから1年以上がたった今も、その終息はなかなか見えず、マスクをし、ソーシャルディスタンスを確保するのが当たり前の日々が続いています。誰しもが「この生活はいつまで続くのだろう」と不安に思っているのではないのでしょうか。

コロナ禍で、人々はさまざまな視点で、物事を考えるようになりました。SNSの普及により誰でも簡単に情報発信ができるようになったこともあり、一人ひとりの価値観が表面化しました。得体的に知らない未知のウイルスを必要以上に恐れる人やただの風邪だという人、緊急事態宣言を一刻も早く必要とする人や経済活動を優先しこれまでも通りの生活を望む人等、感染症対策と経済活動を天秤にかけた議論が至るところで行われ、100人いれば100通りの意見がありました。

しかし、この議論には正解がありません。新型コロナウイルスの感染者が増えれば、死者が増えるかもしれないし、経済活動を止めれば、仕事を失い自殺者が増えるかもしれません。

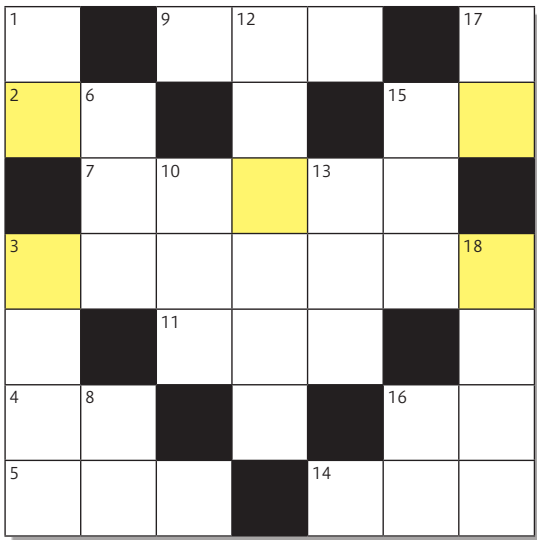
ここで必要なのは、誰にも正解が分からないことに対して正解を追い求めるのではなく、さまざまな分野から出た意見を踏まえ、今出せる最適な答え「最適解」を選択することだと思います。これが今、私たちにできることの1つではないでしょうか。

未来は1つしかなく、その未来を知る人はいません。誰かの意見を否定し、自分の意見を押し付けるのではなく、いろんな意見を受け入れ、導き出せる「最適解」を選択できるように人類一丸となつてこの苦難を乗り越えていきましょう。



「ふれあい」第73号をお読みにした読者の方より、多数のおたよりが寄せられました。ありがとうございます。紙面の都合上、その中のいくつかを紹介いたします。これからもみなさんの「声」をお届けいただけると幸いです。

- ◆いつもクロスワード楽しく解かせてもらっています。そして、キーワードがわかると、何だかほっこりする感じがします。第4号から続いているというのは驚きました。大変だとは思いますが、これからも楽しみにしています。コロナ禍で大変な中ですが、地域の方とつながり、周りへの“感謝”を忘れず生活していきたいと思ひます。(Y.Cさん)
- ◆広い意味で考えれば私もないがしろにしている問題もありつくづく考えさせられます。戦争やいじめ、差別のない世界は、難しいことが山積みですが、常に意識して行動していかないと大変なことになります。まず身近なところから、他人を排除せず、お互いに助け合える関係が築けたら、少しは人権を守ることもつながるのではと考えています。世界中の人々が少しでも幸せに暮らせることを願っています。いつもご苦労様です。(A.Eさん)
- ◆私は戦後20年近くたって生まれましたが、両親は戦争を経験しているので、あんな恐ろしいことは二度とあってはいけないうつも言っていました。戦争がテーマの映画やテレビ番組を見るたびにほんとうにこんなことが起こっていたんだと信じられない思ひですが、ここに紹介されていたマンガやDVDを見て、二度と繰り返してはいけないう気持ちを新たにしたいと思ひます。(N.Kさん)
- ◆「はあとふる」のメッセージに心がなごみました。一部なのでしょうが、きっとこの「はあとふる」の中には、たくさんの心あたたまる言葉が入っているんだろうなと思ひました。(H.Aさん)



■ 応募方法 ■ (郵送、FAX、E-mailいずれかをお願いします)

- 答え・住所・氏名を巻末の用紙に書いて下記までお送り下さい。
〒919-1141 美浜町郷市29-3 人権協事務局 (生涯学習センターなびあす内)
※ FAX(0770-32-1222)
E-mail(jinkenkyo@town.fukui-mihama.lg.jp)



- 〆切は、令和3年9月17日(金)です。(当日消印有効)
- 正解者の中から抽選で、図書カードをお送りします。
- 前号の人権クロスワードの正解は「カンシャ」でした。
たくさんのご応募、ありがとうございました。正解者は27名でした。
今回の当選者は 馬野 豊子さん 中田 英祐さん 根井 理さん
田辺 義幸さん 樋口 愛さん
以上の皆さんです。おめでとうございます!

人権クロスワードパズル 黄色のわくの中の文字を使ってできる言葉が答えです。



ヨコのカギ

2. 広島県の西側を指す旧国名。
3. 勝山市で発見された、中生代白亜紀前期の日本に生息していた恐竜。
4. 目をつぶった状態で見えるもの。
5. 鉱物の一つで、花崗岩などに含まれ、薄くはがれやすい特徴を持つ。「雲母」と書く。
7. 1チーム5人で行うミニサッカー。
9. イースター島にある巨大な石造。
11. 1852mを1とする距離の単位のこと。海面上の長さなどを表すのに使われる。
14. 『ヨコ5』の別の読み方。
15. 沖縄県の県庁所在地。
16. 同じことを何回も聞かされること。「耳に〇〇ができる」

タテのカギ

1. 建物や部屋に入るために開けるもの。
3. いつまでも価値を失わず残ること。〇〇〇〇の名作。
6. 高くなったり低くなったり。
8. 小麦粉などをこねて作った細長い食べ物のこと。
10. 後から付けくわえること。
12. 輪郭や外郭、物事のあらすじのこと。
13. 不足しやすい栄養素を補うための食品のこと。〇〇〇メント。
15. ラーメンの具などに使われる、渦巻きがあるかまぼこ。
16. 大口魚とも書く魚で、かまぼこの原料にもなります。
17. 5月5日のこどもの日は「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、〇〇に感謝する」日と定められています。
18. アブラナ科の1年草で、サラダやおひたしなどに使われます。

編集後記

◆同推協(美浜町同和教育推進協議会)から人権協(美浜町人権尊重啓発協議会)になって、25年が経過しました。25年というと、四半世紀。結婚記念日で言えば銀婚式ということになります。いずれにせよ一つの「節目」を迎えたこととなります。◆この「節目」という言葉。紐解くと、『「節目」の語源は「竹の節」とされており、竹は節があることで大きく成長することができます。「節があることで成長できる」ことから、比喩的に大事な場面や区切りの場面で「節目」が使用されるようになりました。』とあります。◆私の勤める学校の、3月の6年生のおたよりに、『……植物には必ず節があることに気づきます。そして、葉や花となる新芽はその節から

出てきていることがわかります。人にとっても、一つの節目は自身の新たな葉や花を咲かせる大切な場です。この3月、6年生のみなさんにとって思い出に残る日々になりますように。……』とあったのを思い出しました。素敵な文章だと思いませんか? ◆人権協にとって、このコロナ禍という未曾有の局面を節目と捉え、次の新芽を出すための1年となります。う7つの部会がふんばりながら活動を進めていきますので、今後もご支援、ご協力いただきますようお願いいたします。《追伸》 巣ごもり生活が続く中、2月に発行した73号の感想・クロスワードにこれまでの最高となる27名の応募があり、広報部会員一同、大きな元気をいただいたことを申し添えます。ありがとうございました。(西)